“経営に知恵と革新”

平成３１年３月１日発行（隔月発行）Vol.745 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2019 年３月・４月号

小豆島ヘルシーランド株式会社
代表取締役社長　柳生敏宏氏

一般社団法人日本経営士会
会長 青木幸江

認定経営革新等支援機関
一般社団法人日本経営士会

「第65回定時社員総会」のご案内

第65回定時社員総会の日程は、下記の通り決定しました。
社員皆様には、ご出席頂きますようにお願い致します。

日時：平成31年6月21日（金）　15：30 ～ 17：00

会場：スクワール麹町3階　華の間
〒102-0083　東京都千代田区麹町6-6
TEL：03-3234-8739　FAX：03-3234-8738

＊ JR中央 総武線　四谷駅 麹町口から徒歩30秒
（横断歩道を渡り正面の建物）
＊ 地下鉄丸の内線　四谷駅 四谷口から徒歩3分
＊ 地下鉄南北線　四谷駅 3番口から徒歩2分

第53回全国研究会は京都で開催！

今年の全国研究会議は半世紀を超え第53回となります。
全国研の詳細を会報誌、ホームページでお知らせ申し上げます。
今回は参加申込用紙・はがきも添付しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしています。

包括テーマ

伝統と共創

―「第4次産業革命とイノベーション」―
未来社会の構築に向けて

★全国研究会の論文募集要項に付きましては、表3をご参照下さい。会員皆様からたくさんの論文をお待ちしています。

INDEX

第５３回経営士全国研究会議京都大会ご案内 ・・・・・・・・・2
第１０回ビジネス･イノベーション･アワード２０１９募集のお知らせ ・・・・・・・・・4
理事会通信 ・・・・・・・・・5
EXECUTIVE CROSSING ・・・・・・・・・6
委員会活動
　環境ＣＳＲ事業部 ・・・・・・・・・8
　経営支援事業部 ・・・・・・・・・13
女性経営士の会 ＮＪＫ活動報告 ・・・・・・・・・16
研究会通信　生産研究会 ・・・・・・・・・17
「寄稿」武術と健康に関する話 第 11 回 ・・・・・・・・・18
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・・20
会員広場　プロレスと経営 第 12 回 ・・・・・・・・・21
ブロック活動報告 ・・・・・・・・・22
支部活動報告
　北海道支部 ・・・・・・・・・24
　東北支部 ・・・・・・・・・25
　北関東支部 ・・・・・・・・・26
　千葉支部 ・・・・・・・・・29
　南関東支部 ・・・・・・・・・30
　中部支部 ・・・・・・・・・31
　近畿支部 ・・・・・・・・・32
養成講座・セミナー案内 ・・・・・・・・・34
支部活動予定 ・・・・・・・・・35
広告 / インフォメーション ・・・・・・・・・36

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
http://www.keieishikai.com

表紙：小豆島ヘルシーランド株式会社 柳生敏宏社長と青木幸江会長　/　撮影者：青木強志広報委員長

Copyright©2019 AMCJ. All Right Reserved. Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

‼おこしやす全国研へ・心よりお待

第53回経営士全

包括テーマ

伝統と共創

「第4次産業革命とイノベーション」
未来社会の構築に向けて

開催日：2019年9月14日・15日

場所：京都タワーホテル 9F コンベンションホール
京都市下京区烏丸通七条下り東塩小路町721-1（京都駅前）
TEL 075-361-7261

9月14日（土）

・受付：12：00〜12：50　タワーホテル 9F

■第一部　開会式　13：00〜13：30

司会　実行副委員長　藤井美保代

1. **開会の言葉**　実行委員長代理　橋本　俊幸
2. **国旗・団体旗　拝礼**
3. **物故者　黙祷**
4. **実行委員長挨拶**　近畿支部長　鋳方　貞了
5. **会長挨拶**　（一社）日本経営士会会長　青木　幸江
6. **ご来賓祝辞**
7. **ご祝電披露**

13：30〜13：50

8. **全国研究会議多数回出席者**：40回・35回・30回・25回・20回・15回・10回
第53回経営士研究プログラム優秀論文
MPP高単位取得者

13：50〜14：20

9.「**ビジネス・イノベーション・アワード京都**」**表彰**
アワード各賞表彰
大賞・優秀賞・特別賞・実行委員長賞

10. **第一部閉会の挨拶**
実行委員長代行　中筋　敏雄

14：20〜14：35　休憩

■第二部

14：45〜16：15

（1）**特別講演**　テーマ
「**SDGsと脱炭素化がもたらす**
ビジネス革命と地域循環共生圏」
環境省総合環境政策統括官
中井 徳太郎 様（予定）

16：30〜18：00

（2）**基調講演**　テーマ「**（仮）企業理念と経営**」
日本航空株式会社（JAL）
代表取締役副社長・執行役員
藤田 直志 様

基調講演・特別講演 謝辞
実行副委員長　瀬尾　寿一

■第三部　18：10〜20：40

記念セレモニー・懇親パーティー
司会　実行副委員長　河上　晃

1. **開会挨拶**
2. **ご来賓様　挨拶**
3. **乾杯**
4. **閉宴のことば**　実行委員会　顧問　酒井　三雄

会員の皆様方の名刺広告募集中
早期割引あり　5月31日締切り

ちしております!!　実行委員会一同

国研究会議 京都大会

後援（予定）：経済産業省・近畿経済産業局
その他各種団体等

参加費用

※1部～3部
会　員　20,000円
同伴者　10,000円

※講演会（第2部）
一般参加者　3,000円
（資料代）
参加費無料の方
学生
広告掲載の方 1名のみ

※宿泊代は各自で直接お支払いください

9月15日（日）

■研究論文発表会：8：30～10：30

会場	発表時間	質疑応答
白水	8:30～10:30	各発表後10分間
紫峰	8:30～10:30	各発表後10分間
桃山	8:30～10:30	各発表後10分間

■全体会議　10：30～11：30

司会　実行副委員長　　藤井美保代

1. **次回開催地の発表**
（一社）日本経営士会　専務理事　近藤　安弘
2. **全国研究会会議　主管交代**　　〃
3. **次期開催地代表挨拶**
2020年第54回全国研究会議実行委員長
新潟大会　栞山　一宏
4. **閉会の言葉**　実行委員　上村　義一
5. **掲示物予定**
祝電一覧表掲示、支部PRコーナー

※エキスカーション　新元号決定の後、5月頃にご案内致します。
乞うご期待ください。

◇◆◆研究会議論文参考例◆◆◇

・SDGsとビジネスを考える
・観光と生活の共生
・伝統と革新の共生
・都市と地方の共生
・外国人労働者問題にどう対応するか
・デジタルエコノミーの急速な進展にどう対応するか
（キャッシュレス化・IoT・AI・Bigデータ等）
・事業継承の対応
・中小企業として消費税にどう対応するか

宿泊パートナーホテル

1．京都タワーホテル　アネックス
2．ホテル京阪グランデ　ホテル京阪　八条口
3．アパホテル　など

全国研宿泊ホテル一覧

＜2019年9月14日（土）宿泊＞　◎お支払は現地にて各自でお願いします

番号	ホテル名	部屋タイプ	確保数	価格	税込	朝食付
1	京都タワーホテル	シングル禁煙	40	19,800	○	○
2		ツイン禁煙	10	25,000	○	○
3	京都タワーホテルアネックス	シングル禁煙	30	19,200	○	○
4		ツイン禁煙	5	24,800	○	○
5	ホテル京阪 京都 グランデ	シングル禁煙	20	17,000	−	−
6	ホテル京阪 京都 八条口	ツイン禁煙	5	17,000	−	−
7	ホテルエルシエント京都（エルイン京都）	シングル禁煙	50	13,800	○	○
8	アパホテル＜京都駅北＞	シングル禁煙	10	20,000	−	−
9		ツイン禁煙	5	25,000	−	−
10	アパホテル＜京都堀川通＞	シングル禁煙	10	17,500	−	−
11		ツイン禁煙	5	22,000	−	−
12	アパヴィラホテル＜京都駅前＞	シングル禁煙	10	17,500	−	−
13		ツイン禁煙	5	22,000	−	−
14	ホテルセントノーム京都	シングル	10	13,000	−	−
15		ツイン	4	25,000	−	−
16		ダブル	1	25,000	−	−

＜注意＞ 宿泊は3月31日必着でお申込み下さい。
4月1日以降宿泊の受付はできません。ご自身でお手配下さい。

・9月14日（土）宿泊ご希望の方は全国研参加申込用紙またはハガキにご記入下さい。
　同室希望者がいる場合は氏名をご記入下さい。
・お支払は各ホテルにて各自でお願いします。
・部屋割りは実行委員会にて調整致します。ご了承下さい。

第10回ビジネス・イノベーション・アワード2019募集のご案内

ビジネス・イノベーション・アワードは、経営革新や社会貢献等で顕著な成果を上げた経営者、社会支援者、企業、団体、個人を表彰して、企業と地域社会の活性化を支援する目的で創設した公益目的事業です。「第10回ビジネス・イノベーション・アワード2019」を下記の要領にて募集します。自薦・他薦いずれの応募も歓迎いたします。

（会員各位には支援先企業や地域企業などの推薦をお願いいたします）

■ 応募・選考スケジュール

応募受付期間：平成31年4月1日～ 7月10日
選　考　審　査：7月20日（金）
表　　彰　　式：9月14日（土）

■ 選考審査の視点

上記の表彰範囲を満たすもので「理念・手法・ビジネスモデルの創造」などが優れているものであるか、また過去に「賞」や「社会的な評価」を受けた企業が引き続き、革新に挑戦しているかなど、経営コンサルタント（経営士）の視点で選考します。

■ 応募対象

応募は、個人及び中小規模の企業、団体等とし、自薦・他薦を問いません。

■ 選考方法

選考委員会において選考します。

■ 応募方法

所定の応募・申請用紙に必要事項を記載のうえ、会社案内又は活動案内等を添えて2019年4月1日から7月10日までにメール送信又は下記あてにご郵送下さい。応募・申請用紙は、一般社団法人日本経営士会ホームページ（www.keieishikai.com）からダウンロードしてお使いください。（3月下旬にアップします）

（郵送先）〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル 5F
一般社団法人日本経営士会「ビジネス・イノベーション・アワード事務局」
電話：03-3239-0691　FAX：03-3239-1831　メール：office@keieishikai.com

理事会通信

＜平成30年度 第四回定例理事会議事録＞

日　時：平成30年12月7日（金）　11:00～12:20
会　場：薬業年金会館

≪審議事項≫

第1号議案：平成30年度下期の資金繰りについて

近藤専務理事より下半期の資金繰りの説明があり、審議の結果、全会一致を以って承認された。

第2号議案：経営士等承認について

近藤専務理事より資料に沿って説明があり、審議の結果、経営士14名、経営士補4名が全会一致を以って承認された。また、休会希望者1名の休会も全会一致を以って承認された。尚、津田資格審査委員会担当理事より、資格審査委員会にて1名を資料不足のため不合格にした旨の報告があった。

第3号議案：第53回全国研包括テーマについて

近藤専務理事より近畿支部から提出された小冊子に沿って説明があり、審議の結果、「伝統と共創」を第53回全国研の包括テーマにすることが全会一致を以って承認された。尚、サブテーマは主管の近畿支部とすり合わせをすることとした。

第4号議案：外部連携事業部からの提案

藤本担当理事より資料「健康経営ビジネス展開についての提案」に沿って説明があり、審議の結果、商標登録、全能連資格登録をするには、カリキュラム等を煮詰めていく必要があるなどの意見が多く出たため、継続審議をすることとなった。また、藤本担当理事より産業能率大学とのコラボレーションの進捗状況が報告された。

≪報告事項≫

①中間監査報告

石黒監事より「中間監査報告」についての報告があり、雇用契約、業務委託契約等で終わったものに関しては、解約合意書を交わすべきとの指摘があった。

②新HPの内容について

加藤副会長より、外部向けに特化したHP新設の報告があり、担当する山石会員より内容の説明があった。尚、補助金事業のため来年1月までに支払を済ませる確認があった。

③MPP委員会からの報告

佐藤副会長より「MPPリーダー研修ガイドライン（案）」に沿って、説明があった。

④第52回全国研・アワード収支報告

佐藤副会長より両事業の収支報告があった。

⑤旅費交通費について

近藤専務理事より説明があり、再度確認された。

⑥本部PCについて

近藤専務理事より本部のPC・サーバー等に不具合が出て来たので、交換の時期に来ている旨の報告があった。

⑦生産性向上支援訓練の実績について

近藤専務理事より今日現在までの生産性向上支援訓練の実績についての報告があった。

⑧その他

近藤専務理事より「第47期経営士養成講座実施報告」、「第48期経営士養成講座実施計画」の報告があった。

以　上

エグゼクティブ クロッシング

エグゼクティブ クロッシング in 小豆島 開催報告

四国支部＆エグゼクティブクロッシング　宮本 享宙

2019年1月26日、東京を出て、地方で初めてのエグゼクティブ　クロッシングを香川県、小豆島にて開催しました。

この日は寒波がやってきて小豆島では年に1回あるかどうかの雪が舞う中、全国から23名の経営士が集いました。

今回のエグゼクティブクロッシングは、昨今注目を浴びている日本版DMO（ディスティネーション　マネジメント　オーガニゼーション）を研究し、経営士がどのように関わり、貢献することができるのかを考えることがテーマです。

日本版DMOとは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

小豆島で日本版DMOの取り組みをしている「小豆島ヘルシーランド株式会社」の全面的な協力により、リアルな事例をもって視察、研究、討議することが出来ました。

小豆島ヘルシーランド株式会社は、オリーブ化粧品の通販事業が主軸の企業。業績は好調でそれを基盤に、小豆島全体の活性が自社の成長に欠かせないという想いから、文化芸術支援事業×飲食、物販などの店舗事業×出版事業を総合的に展開する事業部、MeiPAM（メイパム）を立ち上げ運営しています。

結果、小豆島への交流人口は増加に貢献していますが、経営は厳しい状態。今回はMeiPAM案件をどうすればよいのか討議をして、提案をすることを着地点にしました。

スケジュールは、①MeiPAM事業の各施設（妖怪博物館、飲食店、カフェ、駄菓子屋、本屋、土産物屋）＋樹齢1000年のオリーブ大樹を視察。 ②オリーブ牛の各部位食べ比べランチ　③小豆島ヘルシーランド株式会社柳生社長（41歳）による解説　④小豆島ヘルシーランド社員を交えてグループ討議（4班・各班6−7名）　⑤討議内容発表

リアルな事例で、実際に視察したこともあり、たいへん白熱した討議になりました。最後は、大判の紙にまとめ、今回の提案内容を小豆島ヘルシーランドに寄贈。

観光地経営という馴染みの薄いテーマにもかかわらず、鋭い切り口、斬新な視点、アイディアなどにちりばめられた提案に、企業側も大いに喜び感謝され、経営士の面目躍如でした。

エグゼクティブ　クロッシングは、本来は若手経営士の会ですが、四国支部、四国女性経営士の会の皆さんと一体になって開催した本会。皆さんのお力添えに感謝です。また、小豆島ヘルシーランド株式会社の皆様どうもありがとうございました。そして、遠方からお越しいただいた経営士の皆さんありがとうございました。お疲れ様でした。

（MeiPAM各事業視察）

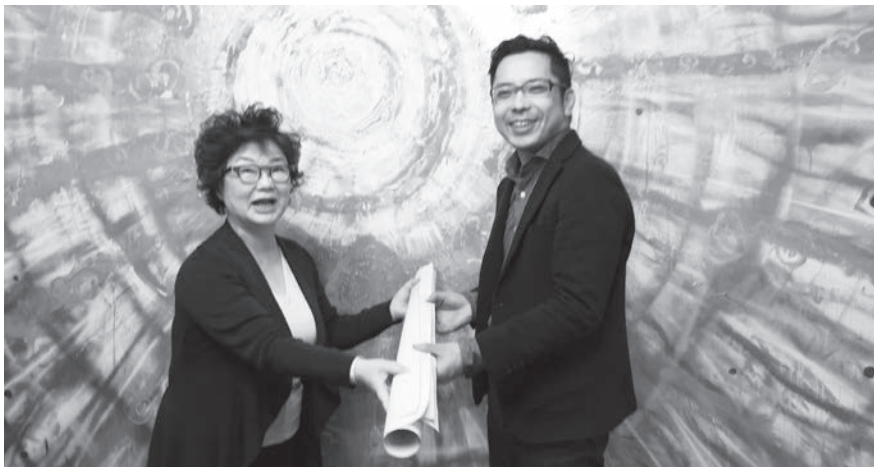
（樹齢千年のオリーブ大樹）

（オリーブ牛 部位食べ比べ）

（小豆島ヘルシーランド柳生社長事業紹介）

（グループ討議）

（討議内容発表）



（討議内容を寄贈）

委員会活動

『2018年環境経営士の活動状況アンケート調査の最終報告』

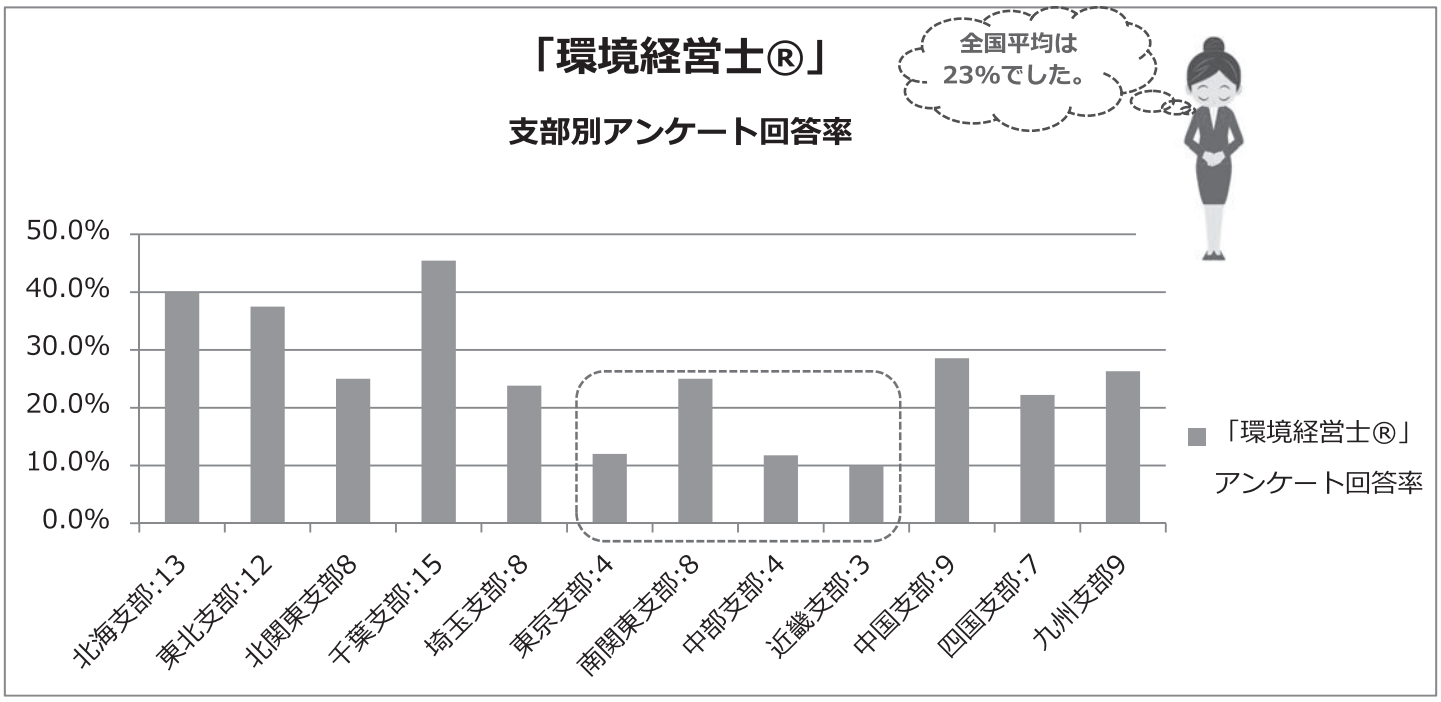
環境CSR事業部

春寒の候、時下ますますご清祥の段、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたびは、お忙しい中、「2018 年環境経営士の活動状況アンケート調査」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。おかげ様で、多くの貴重なご意見等を頂戴することができました。
皆さまからいただきましたご意見・ご要望を、すぐできる内容または中長期的に皆さまと検討しなければならない事項など今後の活動方針および運営・改善に活かしていきたいと考えております。今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

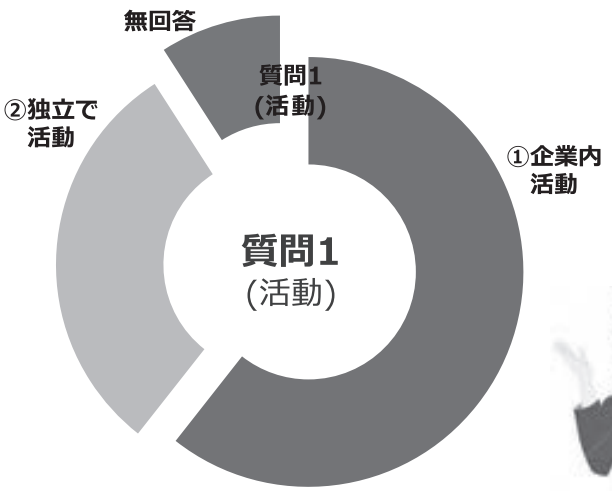
さて、既に「◆環境ＣＳＲニュース　No.087◆　2018.12.20 発行」のメルマガにて速報版をご報告させて頂きました通り、各支部の「2018 年環境経営士の活動状況アンケート調査」の回答率に関しましては、地方支部(千葉支部:45.5%、東北支部、北海道支部･･･)の回答率が高く、逆に都市部の支部(近畿支部:10%、中部支部、東京支部･･･)が、かなり低い状況となっております。やはり都市部は情報発信源が多く、日本経営士会という枠にとらわれず活動されて、環境経営士として関心度(問題・改善意識)が薄く、他人ごととしてとらわれている傾向にあるのではと思われます。

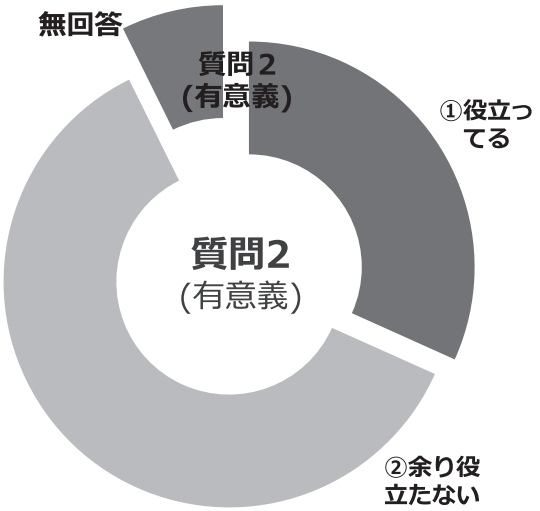
環境経営士として登録されている方は、実に全国 170 名弱の方々がおられます。しかし、2018 年アンケート調査では 23%の回答率と非常に低い結果に終わりましたが、これを機に次年度以降についても引き続きアンケート調査を実施して参りますので、より多くの方々のご意見等を頂だいしたくよろしくお願い申し上げます。
以下に集計結果を報告致します。



■**質問 1. ①又は②で活動されていますか？**　下記のどちらかに〇を付け具体的な業務内容を記入下さい。
①企業内で活動→具体的に　②独立で活動→具体的に

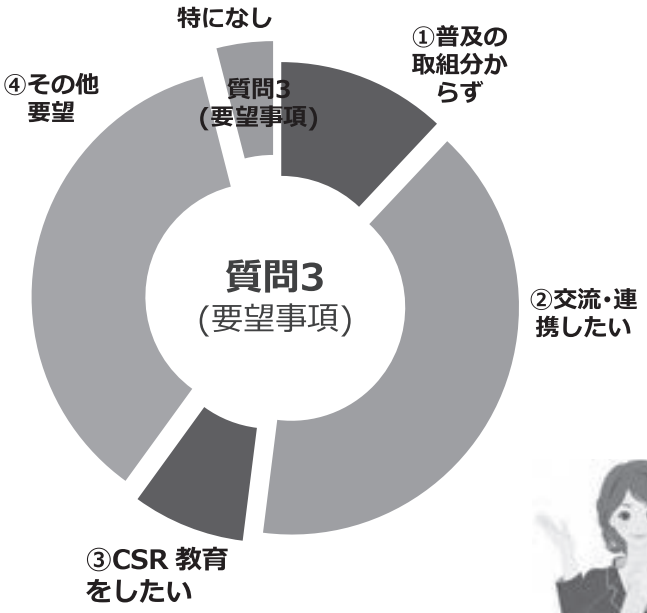
■**質問 2. 環境経営士の資格は役立っていますか？**　下記のどちらかに〇をして具体的に記入下さい。
①役立っている。→どのような面で役立っていますか？　②あまり役立っていない。→それはなぜですか？

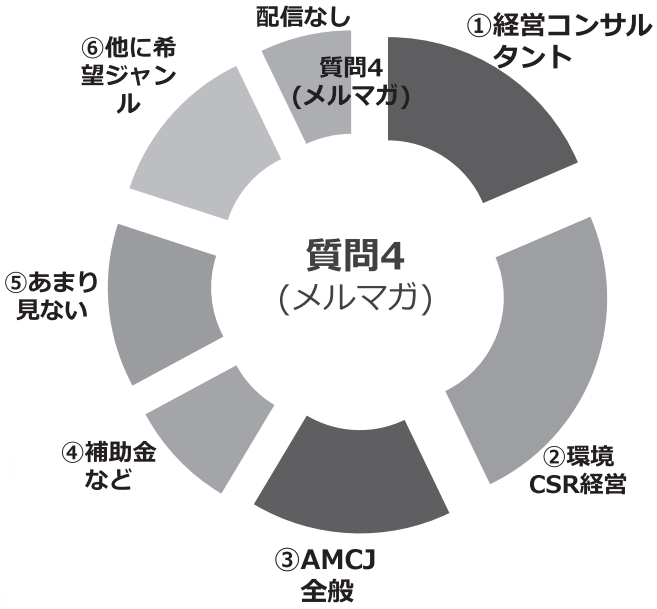




■**質問 3. 環境 CSR 事業部に対しての要望　複数回答、該当に〇を空白にコメントもお願いします。**
①CES、C.CSR の普及のための具体的取組み方がわからない。
②地域の経営士･環境経営士等と交流し、活動を連携したい。
③環境 CSR 教育（一般社員、中堅社員、経営管理層別）を実施したい。講師の派遣を要望。
④その他要望があればご記入ください。

■**質問 4. 「環境 CSR ニュース」を毎月３回配信しています。どのようなジャンルを読んでいますか？**複数回答可。
①経営コンサルタント　②環境 CSR 経営　③日本経営士会全般　④補助金　⑤あまり見ていない
⑥ご希望のジャンルがあれば教えて下さい。





※以下に設問 1、設問 2、設問 3 および設問 4 に対する各人の具体的内容(ご意見)を列挙いたします。

質問 1－①『企業内活動』→59%

1-①EA21 に活用。エコアクション 21 の事務局として活動。
1-①アジア(現在、主としてバングラディッシュ)にて、環境保全と生計向上の両立を図るための地域づくり活動。
1-①弊社は ISO14000 取得済。CSR レポートは環境安全部で作成。サラリーマンなので、独立活動は行えない。
1-①エコアクションの手伝い。再生資源一般廃棄・産業廃棄・収集運搬・処分を行っています。
1-①むしろ、活動方法が地方の経営士にはすべく分からない。都市部が優遇され、地方は非優遇されがち。
1-①私は企業内で資材購買の業務へ携わっており、上司の指導の下、環境負荷を踏まえた材料コストの削減等に取り組んでおります。企業内では年に数回 ISO の勉強会を行っておりますので、将来的に勉強会の指導者として活動したいと考えております。
1-①今のところ企業に籍をおいて環境管理の仕事をしています。(実務でなく、後身の指導が中心)
1-①建設コンサルタントとして、業務の管理技術者や照査技術者として対応するとともに、社内の「エコ事務所」(福岡県に登録)として対応するとともに、社内照明の LED 化などでは、プラン作成・効果予測なども任されているが、中小企業のため、CSR についての関心は少なく、あまり対応していない。それよりも、各業務上のいろいろの問題への対応が重要であり、その対応が顧客(役所)の信用を得るかどうかになる。

質問 1－②『独立で活動』→32%

1-②ISO コンサルタントとして活動。活動方法を検討中。環境団体(温暖化対策)で活動している。
1-②個人で経理コンサルタントとして活動。上場企業、中小企業含め数社を最低秋 1 回訪問している。
1-②環境に関するコンサルタント・システム構築支援活動。
1-②活動という程でもないが、環境経営士としての自覚を持って行動している。
1-②勤務先以外で個人にてコンサルタント活動をしております。
1-②【インテリアデザイン、空間設計、構想企画】傍ら、環境活動支援、環境監査等個人的に環境インストラクター(カウンセラー)として、地域の活動に参加(京都市内)。
1-②C.CSR 認知度を高めるためにも有効な活動と思い活動中。
1-②社会保険労務士、経営士として中小企業の経営労務の指導及び企業・行政の従業員職員を対象とした研修会及び講演会を実施している。

質問 1－③無回答 →9%

質問 2－①『役立っている』→31%

2-①EA21 に活用、エコアクションの担当として。中小企業に関する現状、動向や課題について把握できる。
2-①名刺への表示により、環境面に理解ある専門家であると認知される。
2-①仕事全体に係ることが多い(法の環境対応)。
2-①名刺記載していることもあり、「どのような資格ですか?」等会話の切り口から説明できることもある。
2-①企画・運営関連業務をまかせてもらえるようになった。
2-①近年市場環境は、CES にかぎらず ISO14001 や EA21 のキャンセルが出るなど市場では環境保全活動意欲が低下傾向にあると感じます。そうした市場環境の中で CES をどう展開するか苦心しております。(CES を利益向上策に活かすことを強調しているが?)
2-①経営士会では埼玉支部環境経営研究会に所属しております。先日は経営改善塾で発表の機会をいただき、とても勉強になりました。所属企業の業務と研究会での活動は相乗効果を発揮しているように思います。

質問 2－②『余り役立たない･･･』→62%

2-②ISO-EMS のコンサルタントとして活動している。環境経営士の知識では企業から報酬を得るのは難しいのでは?
2-②境経営士の証明書を見せると、最初はオー!となりが、それ以上はいかない。なぜなら、中小企業の関心事は、ひとモノカネ。それがクリアしないことには環境へ意識がいかない。
2-②環境経営士は単に講習を受ければ取れる資格で、企業内でも外でも普及できる能力を有しているとは思えない。
2-②知名度がなく、資格という意味では役に立っていない。勉強には役立っている。
2-②まだ、「環境経営士」という資格があるが故のメリットを享受できていない気がします。
(例:EMS 関連の案件の依頼が来る等)
2-②日本経営士会事態、社会的認知度がすべく無い。環境経営士の資格そのものが企業に認知されていない。
2-②コンサルティング活動に役立つ情報・ツールがない。
2-②環境経営士としての活動を特にしていないため。また、収益に直接つながっていない。
2-②環境経営士という名称が世間にまだまだ周知されていないため、資格を取得したと上司へ報告しても何とも思われず、登録証を見せても資格の内容説明から始めなければなりません。

2-②率直に言えば社会的認知度はかなり低い。(環境経営士だからといって雇ってくれるような企業はないでしょう?)
2-②会社での名刺には、技術士はいれているが、環境経営士は入れるメリットがなく、入れていない。個人の名刺の中には、環境関係の資格の一つとして入れているが、今のところ、メリットは感じていない。
2-②CSR は今後、企業が存続する際、必要とされる考え方や判断基準と考えるため、何かに、迷ったり・選択に困った場合は、そのような（CSR を基準とした）立場に立って判断している。
2-②社内においては、環境経営士の資格者であることのメリットはほぼ無い。会社では、社内のシステム構築を担当している部門に所属しているため、環境経営という面において、ＩＴを利用したシステム構築のアドバイス程度。
2-②全く役立ってない。個人でどう企業と結び付くか、飛び込み営業までできない。組織体としての戦略はないのか。

質問 2－③無回答→7%

質問 3－①『CES、C.CSR の普及の取組分からず』→13%

3-①取り組み方は分からない。チラシの問題より、環境経営士に能力が有るかが問題。
3-①都市部では積極的に普及活動をしているようだが、地方ではいったいどのような普及活動をしているのか?
3-①そもそも「C.CSR」はどういう経過でできたのか。具体的な内容もわからない。CES とどう合せてすすめるのか。資料もない。マニュアルもない。説明もない。「環境経営士の改訂」テキストも希望者のみ?会報記事レベルで、すべく説明もない･･･。
3-①概念や主旨については一定の理解をもっておりますが、実務ベースから離れている為専門家として顧客と向き合い指導するには尚一層実務ベースのスキル向上が必要かと自身の反省も含め感じるところです。

質問 3－②『地域の経営士･環境経営士と交流･活動を連携したい･･･』→38%

3-②連携というより他の方の活動をしりたい。どんな方がいらっしゃるのか興味はあります。支部の仲間としたい。
3-②都市部には多くの経営士が存在するため交流の場多くあるが、地方には経営士事態少なすぎる。
3-②各自、どのような活動をしているのかを教えて欲しい。
3-②東北支部の方々とはお会いする機会がありますが実務レベルではなかなか実行できておりません。自身の反省も含め今後の課題にして行こうと思っております。
3-②東北支部で開催されるセミナーには仕事の都合が合えば積極的に参加者するようにしておりますが、他の環境経営士の方とゆっくり会話する機会がほとんどありません。他支部も含め、様々な環境経営士の方と交流できる機会（例えばインターネット掲示板のようなものなど）がもっと増えればなと思います。
3-②具体的な活動を連携したい。年齢的に所属企業を近い将来退職（卒業）する予定です。そうなれば、環境経営士として活動の幅をさらに拡げていきたいと思います。
3-②現在、神奈川県の組織開発研究会に参加して情報を頂いているが、埼玉県での環境に関する活動が盛んなようなのでそことの交流も持ちたい。

質問 3－③『環境 CSR 教育を実施したい･･･』→8%

3-③講師の派遣ではなく、環境経営士が講師になれるように教育する方が先決。
3-③都市部では講師が複数存在するようだが、地方では講師の派遣よりも、むしろ特に講師の育成が必要だ。
3-③具体的な案件やニーズが発生した折には絶好の機会としてぜひ顧客が満足のいく教育を行えればと思っています。その際には色々な対応が取れることを期待します。（＊今現在、小生に於いてはなかなかそのようなところまで至っていません。
3-③講師派遣は良いですが、環境省や通産省などの支援を得て、企業の負担はゼロで実施するような事業委託するように動かれませんか?

質問 3－④『その他希望･･･』→37%

3-④少なくとも年会費等数万円も支払をしており、「環境経営士」としての認定証(経営士証と同等、カードタイプ)を配布するべきです。重要
3-④ヒトモノカネが慢性的に不足している中小企業を狙うよりは、企業の社会的責任を要求される上場会社・大会社に対して、環境の啓蒙活動をしていくのが良いかと思われる。私自身も、上場会社への訪問が始まったので、機会をみて環境経営士であることをアピールしていきたい。
3-④日本経営士が「環境 CSR 経営」をどの様に普及していきたいか、普及に対して環境経営士に、どのような役割を求めているのか?すべくわからない。環境経営士が、企業内でも碍(独立)でも ISO14000、31000、26000 を理解し、SR、SDGs、ESG などを体系的に理解し、講師ができる程度に育てなければ、普及は難しいと思います。独立させて環境経営士として活躍している方もいらっしゃると思いますが、逆に ISO14000 を取得している会社からそのサプライチェーンに広める方法もあると思います。それぞれの環境経営士がそれぞれの立場に応じて、活躍できる方法を考えると良いと思います。前にも指摘しましたが、事務局と一部の方が満足しているように思えます。もっと多くの方に意見を聞くと良いと思っていましたので、今回のアンケートは大変良いと思いますが、ここで終わるのではなく、次のステップに繋がることを期待しています。

3-④eco 検定(東京商工会議所主催)合格を推奨して頂きたい。環境問題に関心が必ず出てきます。
3-④環境経営に関心のある企業様からの相談があった場合には、まず、本部ご連絡し、お繋ぎ致します。
3-④特に地方などで社会的認知度を高めてもらいたい。例えば全国の商工会に PR するなど。
3-④コンサルタントに必要な環境経営・CSR 経営・SDG s の知識・ツールを提供する集団であって欲しい。
3-④フォローアップ研修を受けることもできず、また、日頃の仕事内容から小論文提出もままなりません。多少の費用がかかっても、通信教育のような手段でフォローアップができる制度があると、知識向上にも役立ちありがたいです。
3-④環境の課題は全人類的に取り組みが必要な大切な問題であると認識しております。一方中小零細企業、特に地方の企業においては具体的に進めるためどのような入り口とアプローチが有効か思案するところです。今後ともご指導をご教授頂ければ幸いです。
3-④昨年秋に宮城県で開催された『第 52 回　経営士全国研究会議　仙台大会』へ 2 日間参加いたしましたが、若い参加者が見受けられませんでした。経営士や環境経営士に若い方が少ないのは、日本経営士会の活動を知らないという他に、入会金・年会費がかかる点も大きな理由かと思います。もし若い世代の会員を増やしたいとお考えならば、環境経営士だけでも費用の一部減免措置をご検討すべきかと思います。
積極的に活動している会員や、資格を取得することで具体的に何ができるのかをホームページやブログ等で紹介し、環境経営士の取得率向上へつなげて頂ければと思います。
3-④地方の商工会議所や商工会連合会に対して広報活動が有利になる仕組みづくりを要望します。例えば東京商工会議所との連携強化策。
3-④最近、技能実習生について色々な問題が発生している。これは、現代の奴隷制度そのもので、人権侵害が甚だしい。これを無くして CSR に取り組もうというのは如何なものか?現在の日本でパワハラ等が起っている現実に、意識を根本的に変える教育があれば取り上げて頂きたい。
3-④今の環境経営士会についての話は、CSR に偏っているように感じる。中小企業などは、具体的な省エネ効果、補助金、再エネなどの話を中心に進めることを望んでいると感じています。その一部として、CSR も話せばいいように思っています。
3-④私のフィールドは行政、消費者、学生、母子などと企業人とは少し対象が異なります。企業のクライアントとしての視点から、企業や行政をどう見るのかが問われます。企業人や行政担当者・消費者と次世代社会人全ての人が CSR・環境に対する意見交換しつつ意識を高められるプログラムが必要と感じます。ともに社会を構築している体感を得られるような直接的な交流ができる様なプログラムのアレンジやワークショップの開催が必要と思います。どのような企業に付加価値を見出すか、どのような企業経営に対し購買と言う対価を払うのか、どの企業を育てるのかが一般消費者にも問われていると思いますので。

質問 3－⑤『特になし』→7%

質問 4－①『経営コンサルタント』→18%

4-①環境 CSR ニュースが配信されていないため是非とも配信よろしくお願い致します。①～④希望です。あとは、これからビジネスになるのは"健康"であると思いますので、健康関連のニュースが入ると嬉しいです。
4-①配信されているのは知っているが興味が持てない内容が多い。

質問 4－②『環境 CSR 経営』→24%　質問 4－③『AMCJ 全般･･･』→16%
質問 4－④『補助金など･･･』→8%　質問 4－⑤『みてない･･･』→14%
質問 4－⑥『その他のジャンル希望･･･』→13%

4-⑥とにかく、環境経営士の活動事例紹介を･･･。
4-⑥全般的に拝読しております。全国間同士でコミュニケーションがとれるツールで色々な意見や連携が取れて面白くなるかもしれません。
4-⑥労働安全衛生に関すること。環境・エネルギー関係の経営、太陽光発電の 2019 年問題など。
4-⑥SDGs 未来都市,自治体 SDGs モデル事業について興味を持っているので関連情報があればご教示ください。
4-⑥いろいろとお世話になっております。送信頂きました内容について、走り読みになりますが、項目が多彩に網羅されていることに驚きと共に感謝申し上げます。現在携わっている業務がどうしても中心となり、環境関連全般、地球温暖化対策技術とその関連する補助金、国などの動向を切り口に見ている傾向が強いです。
今後、今回のようなアンケートを頂きましたことから、これを一つのきっかけに他の内容についても気に掛け読んで行きたいと思います。ありがとうございます。

質問 4-⑦メール受信なし→7%

成り行き経営を支援しますか？

それとも計画的な経営が出来るように支援しますか？

「経営革新計画プロフェッショナル養成講座」

5月18日～19日　開講　　【経営支援事業部】

多くの中小企業では中期経営計画を策定していません。しかし、3～5年の計画を作り経営者が自社を客観視し会社の方向性を示すことで、社員のベクトルが一致し労働意欲も高まり業績アップにつながります。

・「経営革新計画」とは、中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年のビジネスプランのことです。

・経営革新計画を都道府県などに申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、特許関係料金減免等の支援措置の対象になります。

■経営革新計画プロフェッショナル養成講座

◆主な学習内容(予定)：

・経営支援機関と経営支援アドバイザーの役割

・経営革新計画制度の紹介と申請書の書き方

・マーケティング　・損益計算書と貸借対照表の見方　・経営革新計画策定演習　ほか

◆受講メリット：

・経営革新計画策定に必要な知識と策定ノウハウを習得でき、補助金申請にも応用可能です。

・講師の事例をもとに、経営革新計画の策定プロセスを演習するため実践的に理解できます。

◆講師(予定)：

豊田賢治(経営支援アドバイザー)　　越智圭一郎(経営支援アドバイザー)

＊講師のプロフィールは、日本経営士会のホームページをご覧ください。

◆開催日時(2日間)：1日目：2019年5月18日(土)　10：00～18：00

2日目：2019年5月19日(日)　9：30～17：30

◆会場(予定)：(一・社)日本健康機構　セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町18－7　小網ビル3階

◆定員：　20名

◆受講料：　￥30,000(税込)

◆申込締切日：2019年5月2日(木)　＜先着順＞

◆お申し込み：(一・社)日本経営士会　本部事務局　竹下

TEL 03-3239-0691　FAX 03-3239-1831　E-mail：office@keieishikai.com

委員会活動

「e-ラーニング講座」開講のご案内

経営支援事業部

経営支援事業部では、e-ラーニングサービスプロバイダー(株)KIYOラーニングが開発した廉価型e-ラーニングプラットフォーム「AirCourse」の導入を決定し、本年3月から、日本経営士会会員を対象に、日本経営士会が開催した各種セミナー動画等を配信する「e-ラーニング講座」をスタートします。

「AirCourse」は、マルチデバイス対応となっていますので、セミナーや講演等の動画を、お時間や場所を選ばず、PC、スマホ、タブレットなど様々なデバイスで視聴することが可能となります。よって、地方在住の会員の方や、多忙のため日本経営士会が開催するセミナー等に参加する時間が取れない会員の方などにも、オンライン上で手軽に各種セミナーをご受講いただくことが可能となりました。

本年3月からは、まず以下の3講座を開講する予定です。今後順次開講講座を増やしていきますので、是非「AirCourse」でご希望の講座を受講され、ご自身のスキルアップ等にご活用ください。

■2019年3月開講「e-ラーニング講座」(予定)

1. キャッシュフロー計算書講座 (約2時間)

・学習内容:キャッシュフロー計算書、変動損益計算書等の理解ほか
・講　　師:木下忠夫(経営支援アドバイザー)
・受 講 料:￥3,000(税込)

2. 事業分析と戦略立案講座 (約2時間)

・学習内容:戦略立案の策定フロー、事業分析と戦略定石ほか
・講　　師:川崎隆夫(経営支援アドバイザー)
・受 講 料:￥3,000(税込)

3. 中小企業会計と財務諸表の見方講座 (約2時間)

・学習内容:損益計算書、貸借対照表、販売費及び一般管理費(内訳書、製造原価報告書含む)ほか
・講　　師:豊田賢治(経営支援アドバイザー)
・受 講 料:￥3,000(税込)

＊上記3講座は、2018年11月9日に実施した「会計＆戦略立案講座(経営改善プロ養成講座第1日)」の講義を、動画撮影したものです。
＊各講座の詳細は、日本経営士会HPでご確認ください。

◆受講に関するお問い合わせ・お申込みは:

(一社)日本経営士会 本部事務局　竹下宛
TEL:03-3239-0691　　E-mail:office@keieishikai.com

委員会活動

「コンサルタント起業塾」受講者ご紹介のお願い

経営支援事業部

現在、定年後などのセカンドキャリアとして、経営コンサルタントに転進を希望するビジネスパーソンが増えています。それに比例して、独立コンサルタントの支援ビジネスも増加していますが、中には高額な会費を徴収する割には、実効性に乏しいサービスも散見されます。

そこで経営支援事業部は、経営コンサルタントとして起業・独立する際に押さえておきたいエッセンスを廉価で学べる「コンサルタント起業塾」を、以下の通り開講することにいたしました。

関東近郊にお住まいの会員のご友人等で、経営コンサルタント（経営士）への転進を検討している方がおられましたら、是非下記講座の受講をご案内いただけますと幸いです。

■「第1回　コンサルタント起業塾」概要（予定）

・学習内容（予定）：

・マネジメントコンサルタント（経営士）の仕事内容、活躍できる領域ほか

・コンサルティング市場の特性、独立コンサルタントのビジネスモデル

・コンサルタントの独立・起業形態　ほか

・コンサルタントの各種指導手法、扱うテーマなど

・コンサルタントのセルフブランディング、セルフマーケティング

・ご自身の知識・スキル、経験等の棚卸し

・日本経営士会の機能を活用した顧客開拓プロセス、顧客開拓手法　ほか

・講　　師：川崎隆夫（経営士、経営支援アドバイザー）

・開講日時：

開 講 日：第1日：4月14日（日）、第2日：4月21日（日）　＜2日＞

開講時間：10：00 ～ 17：30　（両日とも）

・会　場：日本経営士会本部会議室

・定　員：6名（先着順）

・受講料：￥29,800（税込）

＊本塾の詳細は、日本経営士会HPをご参照ください。

＊新会員獲得を主目的として開講いたしますので、日本経営士会会員の方は、原則受講できません。

◆「コンサルタント起業塾」に関するお問い合わせは：

（一社）日本経営士会 本部事務局　竹下宛

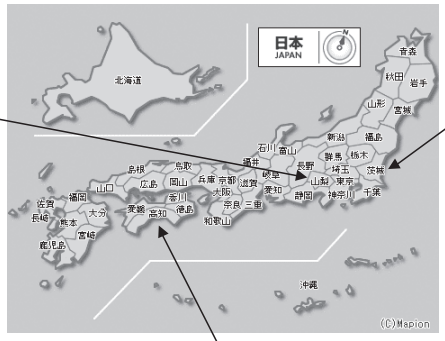
TEL：03-3239-0691　　E-mail：office@keieishikai.com

女性経営士の会NJK活動報告

○全国に広がる女性経営士・女性起業家のネットワーク

平成24年に発足した「女性経営士の会　NJK」の活動の輪もここに来て活発になっています。経営士であることを超えた、会計士、税理士、司法書士など活躍する女性の全国規模ネットワーク強化は兼ねてからの念願でした。いずれ全国規模の大きなフォーラム開催になれるよう願っています。現在、山梨(YJK)、茨城、四国で独自の女性活躍活動を展開する会があります。2019年もNJKから目が離せません。

〈山梨〉 YJK
代表　松永桂子さん



11/18　ランチ付きセミナーの様子
上村直子さん　三澤恭子さん

〈茨城〉 一般社団法人茨城県女性起業家支援ネットワーク
代表理事　松橋裕子さん　吉村千鶴子さん
1/25「企業女子マルシェ」開催の様子

〈四国〉 四国女性会　松本美帆さん、山本かおるさん、岩井美津子さん、加藤佳子さん、藤原潤子さん
昨年７月に発足　本年1/26 エグゼクティブクロッシングと男性経営士と小豆島視察の様子

〈2019年のNJK活動予定〉

事業名		事業内容
3/24	事業報告会	NJK 活動報告と計画　会員活動報告
4/7	会員企画	クラウドファンディングセミナー
7/9	外部向け講演会	中部大学東京サテライトにて外部講師講演
8/31	女性リーダー MPP	女性リーダーによる MPP in 新潟
9/4	全国研究会議支援	全国研究会議参加とプログラム参加
10月下旬	外部向け広報講演会	東京都ウィメンズプラザフォーラム参加企画

○NJKは男女の差なく、会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。
○NJKとコミュニケーションの輪を広げましょう。コラボ希望の支部随時募集中。
【お問合せ】TEL：090-1812-9812　島影(bzu03624@nifty.com)

生産研究会通信

IoTへの対応 準備

生産部会（会員番号 209）　平山 道雄

最近叫ばれているIoTは一般的に「モノのインターネット」と言われているが人それぞれで異なった解釈をしているように思う。また、「人工知能」と言われているAIやロボットについては話し手と聞き手の間で思い浮かべる印象や姿が大きく異なっていることが多いのではなかろうか。

これは利活用する場の異なった人達がIoTと言う語句から感じ取ったことのみを基に話し合うからであろう。

これからの世の中ではIoTシステムの大小に関わらず導入を図り、効率化・生産性向上また省人化などを考えて行かなければ発展はないであろう。

然しこれを自社の力のみでの開発・設置は不可能でありさまざまの専門会社に発注することになるであろうが、既製品を買うのとは異なり個別に発注先との打ち合わせが必要となり、当方から相当の注文を出すことになると同時に先方からは様々な要求条件が出されるであろう。過去においてはコンピュータを導入するに当たって、既成のソフトを無条件で採用して失敗した事例が少なくなかったことから学び、専門会社との打ち合わせを容易にするだけの知識を持って準備しておく必要が在るように思う。

その為に、自社におけるIoTシステムの利活用の目的を明確にして管理活動･現場行動･ハード･ソフトの四つの面について双方でお互いに話し合える・打ち合わせの出来る準備をしておく必要がある。

管理活動・管理行動に就いては、必要なデータを何時・どの様な状況の時・どの様なデータを採取するかまたデータをどの様に加工し整理するか、収集整理されたデータは次のどの様な行動に役立てるかを確り掴んでおく。

現場行動では工程・工順は勿論のこと、作業担当者の動きや動作を分析して要素作業や行動速度などから作業手順を把握できるようにする。

ハードに就いては自動化またロボット化された機械・設備による作業の効率化・安全化を考慮しなければならないであろう。その為人間工学・機構学・機械工学など物の動き方・働き方に関する見方・分析の出来る感覚を養っておく。

ソフト面では、AI・センサーでロボットまた機械・設備の動きをどの様に制御するかまたデータや信号の採取・使い方・整理方法などを考える力をつける。

今後IoTやAIを導入・推進していく為には、利活用する側がその目的を明確にして物事の本質を見極めることが最初であり、近年疎かにされがちな生産管理・技術管理、システム設計技法を確り身に着けて行動することを忘れてはならない。

生産や管理の在り方に夢を持ち、実現に向けた活動がIoTに繋がると思う。　（以上）

生産研究会から提言・提案寄稿のお願い

生産研究会では、皆様から次のテーマに関する提言・提案を募集しております。寄稿していただいた原稿については取り纏め、生産研究会の調査・研究資料として、また日本経営士会発行のマネジメントコンサルタント誌に掲載させて頂く予定です。投稿をよろしくお願い申し上げます。

■投稿テーマ：ものづくり産業の経営課題と対応について

【事　例】

①製造業のものづくりに関する提言・提案
②IT利活用による生産性向上について
③デジタル技術によるビジネス拡大、新商品／サービスの提供について

■提出要領

・A4版1枚　40文字×35行以内（原則：文字サイズ10.5）
・提出先：日本経営士会生産研究会　山本忠（事務局）宛にメールにてお願い致します。
E-mail：yama-chu19-fukuei@swan.ocn.ne.jp

寄稿

武術と健康に関する話　（第11回）

平　直行

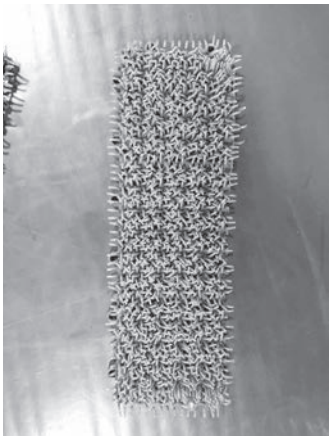
■ 腰痛の改善その2

前回の予告通り更に腰痛を改善する運動を紹介しようと思います。更に改善するには更に難しい運動が必要かといえばそんなことはありません。10回かけて簡単な理論を紹介してきました。今回からは武術の本当の身体理論を紹介しながら、より簡単に体を良くする運動を紹介して行きたいと思います。

人は地球に生かされている。その恩恵は文明の発達と共に薄まっている。人は地球の空気が無ければ生きられない。地球に降り注ぐ太陽が消えれば存在も消える。夜に入れ替わる月が消えても同じ。天から降り注ぐ恵みの雨も同じ。雨が降り川になり海に届く。地球を循環する水の恩恵は計り知れない。しかし、その仕組みの一部さえも実は誰も知らない。

僕らは地球に生かされている。体を動かす地表は人に恩恵をもたらしている。その恩恵を人はまだ気がつかないでいる。東洋の先人はその知恵を知っていた。武術は地球の力を借りて体を元の状態に戻す。

難しいでしょうか？武術の身体原理は西洋の医学ともスポーツとも全く違います。今回は理屈よりもこの知恵で簡単に体を良くする運動を紹介します。まず人工芝を用意してください。大概の100均で108円（税込み）で買えます。写真はベランダに轢く人工芝です。30cm×30cmを3つに切ります。



この上に乗るだけで体は柔軟になります。サムライメソッドやわらぎは0秒で体を変えるメソッドです。腰が辛いと前屈するのが辛いですね。逆を言えば前屈が楽になると腰も楽になります。人工芝に乗る前と乗った前屈です。

（左：人工芝に乗る前　右：人工芝に乗った後）

何の努力も辛いこともやらずに、ただ人工芝に乗るだけで体は0秒で変わります。

腰が痛いと体を捻じるのは更に辛いですね。これも楽に体が捩れるようになれば腰も楽になっています。同じように人工芝に乗るだけで体は0秒で変わります。

このように運動をしなくとも、スリッパに人工芝を入れて歩くだけで、体は変化していきます。

スリッパも100均で買ったもので充分です。

一体何故このようなことが起きるのか、これが西洋に未だない、東洋では起源前から知っていた体の知恵です。これを無意識の運動理論と呼びサムライメソッドやわらぎで発信を始めます。次回は無意識の運動理論に関する話です。

【平直行先生の施術情報はこちら】 http://strapple-taira.com/yawaragi/index.html

会員の輪

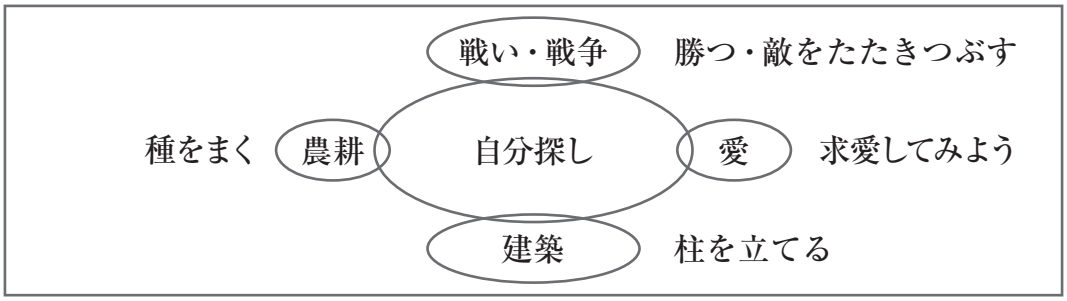
「私の経営士としてのスタート」

藤原 義博（九州支部）

こんにちは。九州支部の藤原義博です。

私の経営士会入会の動機は、東証1部上場製造業に勤務し、労働組合幹部を5年間経験、その後、総務課長職を経験し“経営とは何かを知りたい”と意識したことからです。入会後、日本経営士会の第17期経営士養成講座に応募し、研修会場となる東京のアジア会館に九州から約1年間通いました。研修会場のアジア会館に於いて、講師から出願された課題解決のため夜遅くまで同士の皆さんと共に頑張ったことが、経営研究の基礎につながっております。

企業退職後は、友人の電子機器製造業新規設立に加わり、土地埋め立て・工場（建屋）建設・工程決め・製品出荷までを担当しました。こうした行動から“自分探し”を図解してみると次図のようになります



上図においてビジネス世界では、戦いのメタファー（暗喩）が多いと思いますがなぜでしょうか。私のメタファーは、種をまく段階にあると思っています。

田園地帯で動き回っているため地球環境保全についての取組についても活動展開しております。昭和48年オイルショックごろから松林が枯れていくのが目立ち始め、自然環境に何かが起きていると感じたのがキッカケです。現在は企業回りするときの挨拶時点で、“環境保全への取り組みはどうですか”とお尋ねするようにしております。企業訪問時に話題提供として、CES展開の要点が大変役立っております。

私の居住地は、国東半島宇佐地域世界農業遺産（GIAHS）認定地域です。**環境保全**に軸足を置きながら**企業の経営改善**に取り組む、という2点を展開していきます。次号では、沖縄の志村郁夫会員にお願いします。ありがとうございました。

（マチュピチュ宇佐）

（69連勝の双葉山銅像）

会員広場

【プロレスと経営】第十二回

堺　剛

プロレスラーの人事評価はとても難しい。プロレスは勝ち負けだけで評価できる世界ではないからである。かつて、テレビ局からの出向役員がレスラーの人事査定を行った際、“負けが多い”レスラーの年俸を下げてしまい、そのレスラー達のモチベーションを破壊してしまったことがあると聞く。スター選手を引き立てるような負け方をすることが必要とされているにも関わらず、だ。出向役員にプロレスの仕組みを理解させていなかったこと、と、そのような役員に査定の権限を渡してしまったことが失敗の要因であろう。

どの会社にも言えることであるが、人事評価の仕組みづくりは大切である。KPI（重要業績評価指標）をきちんと定義し、社員一人ひとりに伝え、それに伴って行動してもらうことが必要となってくる。何が評価されるのかがわからないようでは社員も行動しようがない。

先日、とある人事コンサルタントと話す機会があった。彼が主張していたのは、業績の良い会社は大企業・中小企業に関わらず人事評価の大切さを認識している。業績があまり良くない会社は人事評価を疎かにしているため社員の定着率も良くないとのことであった。日々人事制度をブラッシュアップしている会社と、社長の気分で人事評価が変わる会社とでは差が出るのは火を見るよりも明らかである。

さて、プロレスの話に戻そう。テレビ局出向役員に査定を任せていたことが失敗であると学んだ新日本プロレスは、次に人事権を“現場監督”に一任した。現場を良く知る人に人事を任せれば大丈夫であるとの考えだ。しかしながら、それも新たな軋轢を生んだ。“現場監督”のプロレス観で物を見るため、彼と似たタイプの“パワー系”レスラーが評価され、彼のプロレス観と合わない“無我”な試合をするレスラーは評価が低くなってしまった。人が人を評価することに正解はなく、公正な人事制度を作り上げることは本当に難しい。

“現場監督”が退社し大きく体制が変わった新日本プロレスは、現在はブシロード社が大株主となっている。「好きなように働く」以前のスタイルから、株式公開を目指した組織改革にシフトしているようだ。各レスラーの査定基準は公表されていないが、おそらく、以前のように“勝率”や“現場監督の好き嫌い”で評価されていた時代とは大きく変わり、各々のレスラーの役割を考慮した公正な人事評価になっていることであろうと想像する。

ここ数年、新日本プロレスの人気が高まってきている。一方で、集客できずに資金繰りに苦しんでいるプロレス団体も多数ある。ひょっとしたら人事制度の差が人気の差となっているのではないかと推測する今日この頃である。

（続く）

堺　剛：
経営士（会員番号5384）、環境経営士（認定番号244）。
株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。バンダイビジュアル株式会社を始めとして、中小企業・外資系企業数社で経理のキャリアを20年以上積み2017年4月会社設立。①経理業務カウンセリング（月次決算早期化・管理会計強化・キャッシュフロー見える化）②お菓子卸売業③素焼きアーモンド（ビュート種）の販売、等を行っている。
ホームページ：https://www.burningspirits2017.com/
電話番号：090-2733-0185　E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

ブロック活動報告

「中日本ブロック活動報告」

中日本ブロック担当理事　鈴木 和男

中日本ブロックには、東京支部、南関東支部、埼玉支部そして千葉支部の4支部が所属しています。従前から、各支部のMPPや各種セミナー、研究会などの活動への参加者が少ないという課題がありました。

そこで各支部長との協議の結果、今後は、各支部でのイベントは、極力中日本ブロック主催として広域なオペレーションをすることにしました(中日本ブロック主催、支部が主管)。もちろん原則であり、支部単位での開催・運営は尊重しています。

また、支部主催の幹事会や研究会などにも周辺支部役員・会員は参加し、会員間の交流をより深めるよう促すととにしました。

この取り組みでの成果は、

① 2018年4月21日「新春セミナー“2018年以降の日本経済動向”」(講師：みずほ総研部長＆鈴木理事)を東京支部主管、近隣支部共催で実施。53名の参加者となった。

② 8月6日　埼玉支部「ビジネスモデルキャンバス研究会」へ鈴木参加・講演。研究会メンバーとして登録。以降、東京支部幹事2名もメンバーとして参画。

③ 8月14日　東京支部役員会に、埼玉支部長及び役員3名が参加。

④ 8月25日　「2018　東京Woman MPP in Tokyo」(NJK&東京支部主催)に中日本ブロック及び東日本ブロックなどからも参加(約35名参加)

⑤ 10月14日　「MPP研究会」(埼玉支部主管)中日本ブロックのみならず、東北支部会員と自治体の方2名の参加を含む、合計17名が参加。

⑥ 10月17日　「中小企業白書から見る日本の経済動向」セミナー(東京支部主管)
参加者は39名。

⑦ 11月18日　「MPP研究会」(南関東支部主管)東京支部からも4名参画。

以降、直近の活動及び予定を述べます。

⑧ 2019年2月3日　「2018全国研 論文発表会 in 中日本ブロック」を開催しました。
主催中日本ブロック、主管支部は埼玉支部。

2018年10月、仙台市において第52回経営士全国研究会議(以下全国研)が開催されましたが、この仙台大会で発表できた会員、また論文集に掲載されたが仙台での発表がなかった中日本ブロック所属の会員計7名のうち、都合を確認した上で発表者6名で実施しました。

この論文発表会は、昨年まで埼玉支部内で「埼玉支部版発表会」を実施していましたが、埼玉支部だけでは参加者の増加が見込めず中日本ブロックに拡大したものです。

中日本ブロック内の各支部からの参加者は27名。このうち2名が会員紹介による外部の方々でした。

当日のカリキュラムは次のとおりです。

日時：2019年2月3日(日)　13：00 ～ 17：00

場所：武蔵浦和コミュニティセンター第6集会室

13：05 ～ 16：40　発表(6名)

16：40 ～ 16：45　ご所感(近藤安弘専務理事)

※17：15から、会場を移して懇親会を実施(18名参加)

(「論文発表会 in 中日本ブロック」会場風景)

発表者は、発表者自身の研究・取組事例解説と、取組の中で得た教訓や、経営士に向けた助言、実務への適用などを話されました。

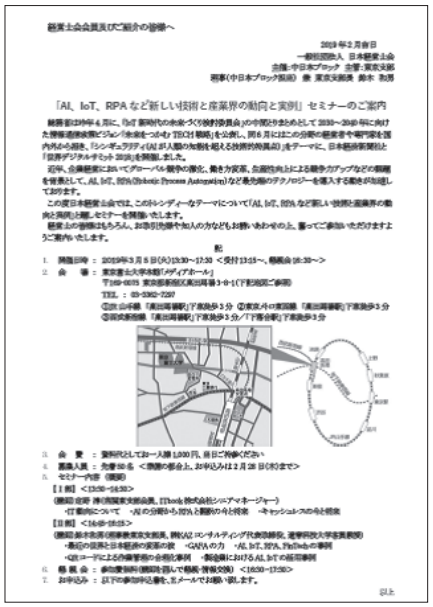
参加者からは自らの業務や案件に活かそうとの思いから、また発表者からは自らの体験を参加者と共有したいとの思いから、活発な質疑応答が繰り広げられました。

多くの参加者に恵まれ、大盛況のうちに閉会を迎えることができました。

⑨ 2019年3月5日　トレンディーセミナー

「AI、IoT、RPAなど新しい技術と
産業界の動向と実例」セミナー

主催中日本ブロック、主管東京支部で開催します。
2月21日に時点で、外部のお客様10名を含め、
45名の参加申し込みが入っています。


経営士会会員及びご紹介の皆様へ

2019年2月吉日
一般社団法人 日本経営士会
主催:中日本ブロック 主管:東京支部
理事(中日本ブロック長兼) 兼 東京支部長 鈴木 和男

「AI、IoT、RPA など新しい技術と産業界の動向と実例」セミナーのご案内

経営者は中期4～5年に、当社「新時代の未来ビジョン(5年後計画委員会)」の中間とりまとめとして 2030～2040年に向けた理想連続体験ビジョン「未来をつかむ TEAM 経営」を公表し、同6月にはこの分野の経営者や専門家を国内外から招き、「シンギュラリティ(AI が人間の知能を超える技術的特異点)」をテーマに、日本経済新聞社と「世界デジタルサミット 2019」を開催しました。

近年、企業経営においてグローバル競争の激化、働き方改革、生産性向上による競争力アップなどの課題を背景として、AI、IoT、RPA(Robotic Process Automation)など最先端のテクノロジーを導入する動きが加速しております。

この度日本経営士会では、このホットなテーマについて「AI、IoT、RPA など新しい技術と産業界の動向と実例」と題し、セミナーを開催いたします。

経営士の皆様にもぜひ、お取引先様や知人の方などもお誘いあわせのと、奮ってご参加いただけますようご案内いたします。

記

1. 開催日時 : 2019年3月5日(火)13:30～17:30 <受付13:15～、懇親会 16:30～>
2. 会　　場 : 東京富士大学本館「メディアホール」
   〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-1(下記地図ご参照)
   TEL : 03-3362-7297
   ①JR 山手線「高田馬場駅」下車徒歩3分 ②東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩3分
   ③西武新宿線「高田馬場駅」下車徒歩3分／下落合駅」下車徒歩3分
3. 会　費 : 業界特別価格として2～3人様 1,000円、当日ご持参ください
4. 募集人員 : 先着50名 <満席の都合上、お申込みは2月28日(木)まで>
5. セミナー内容 (概要)
   【Ⅰ部】<13:30～14:30>
   (講師) 定野 淳(南関東支部会員、ITbook 株式会社シニアマネージャー)
   ・IT動向について　・AI の分野から RPA と翻訳の今と将来　・キャッシュレスの今と将来
   【Ⅱ部】<14:45～16:15>
   (講師) 鈴木和男(理事兼東京支部長、株式会社コンサルティング代表取締役、遼寧科技大学客員教授)
   ・最近の世界と日本経済の変革の波　・GAFA の力　・AI、IoT、RPA、FinTech の事例
   ・QR コードによる作業管理の合理化事例　・製造業における AI、IoT の活用事例
6. 懇 親 会 : 参加費無料(講師を囲んで懇親・情報交換) <16:30～17:30>
7. お申込み : 以下の参加申込書を、E メールでお願い致します。

以上

1. 開催日時：2019年3月5日(火)　13：30 ～ 17：30
2. 会　　場：東京富士大学本館「メディアホール」

【Ⅰ　部】　<13：30 ～ 14：30>

(講師)定野 淳（南関東支部会員、
ITbook株式会社シニアマネージャー）

・IT動向について
・AIの分野からRPAと翻訳の今と将来
・キャッシュレスの今と将来

【Ⅱ　部】　<14：45 ～ 16：15>

(講師)鈴木 和男（理事兼東京支部長、(株)KAZコンサルティング代表取締役、
遼寧科技大学客員教授）

・最近の世界と日本経済の変革の波
・GAFAの力
・AI、IoT、RPA、FinTechの事例
・QRコードによる作業管理の合理化事例
・製造業におけるAI、IoTの活用事例

【懇親会】　参加費無料(講師を囲んで懇親・情報交換)　<16：30 ～ 17：30>

⑩ 経営士養成講座

43期から現在開講中の48期まで、本部と東京支部(46期は南関東支部)共催で行ってきましたが、今後は、本部と中日本ブロック共催とすることにしました。

・4月スタートの49期から本部と中日本ブロックの共催で、2019年度4月から年4回の開催を計画しています。中日本ブロックの各支部持ち回りでの開催となります。
・43期から48期まで9日間、15万円(税込み)での募集でしたが、49期から10日間、20万円(税込み)で行うようにしました。
・研修場所は、本部会議室ですが、3月中に現在の会議室をリフォームし、今までのMax10名から16名募集(Max20名)となります。

以上のように、従前の支部単位の活動を周辺支部協業による運営とし、会員間のより広いコミュニケーション・コラボレーションの実現と、各種イベントの開催頻度を増し、外部への発信強化を目指してまいります。

以上

北海道支部活動報告

北海道支部

北海道支部長　溝渕 新蔵

新年総会開催2019年1月26日（土）15：00　交礼会 16：00〜18：00

北海道支部は、新年総会を開催して事業経過報告、上期決算報告を行いました。出席者は総勢13名で、極めて有意義に開催されました。

① 推戴する顧問弁護士和田丈夫先生の卓話テーマは「AI雑感」です。

Artificial Intelligence（人口知能）は、1950年代から始まり、その研究分野の広がりで目覚ましい進歩を遂げました。今や人間の労力や知的活動で補完、置換として開発されました。しかし、AIによって置き換えられる職業分野は、一方向性の単純労働の分野から双方向性に知的労働の分野にまで及んで、かつて職場の顔と言われた受付嬢やニュース放送のアナウンサーまでが人間ロボットに代わり、航空機のパイロットや高速車両運転など、表舞台の花形職業が次々と特化したロボットに代わるだろうと言われます。

このように置換領域が拡張すればするほど必然的に大量の賃金労働者がその職を失うことになるでしょう。少子化から生ずる労働力不足の解消として、歓迎すべき現象と言えるでしょうが、他面、賃金労働者が少なくなると税収が見込めないことで、国の徴税技術の抜本的検討が必要になりますよね。ことは、資本主義経済体制の根幹を揺るがす検討課題でもあります。未来学者レイ・カーツワイルは近未来には人間の脳を超える「技術的特異点シンギュラリティ」に到達すると予言しています。一方課題も大きいです。人間の代替問題や、社会、経済に及ぼす影響が危惧されるのです。経営士の皆さんは、労働・人事の問題及び企業収益や納税に関する専門コンサルタントとして、「何を学び、いかにアドバイスするか、どう働きたいですか、そこでAI時代の生き方を真剣に考えていきましょうと申し上げたい。一介の法律実務家は、このような課題を想起しますが、改元を迎える年の初めにあたり、この国の在り方について、関連する為政者や皆さんの卓越した知識に期待する次第です。

ご清聴を感謝します。有難うございました。

② 新会員勧誘に対する新しい方式として、総会にゲスト招待しました。

交礼会にも参加して、異業種の専門家との交礼を深め、経営士会雰囲気の観察と自らの仕事のファイトをたぎらすなど、極めて有意義で、研修と楽しさを高揚したと思われます。この方法は、北海道では初めての企画でしたが、新入会者に対する儀礼をわきまえ、更に理解を高めるためには最高の招待会と思います。全国の経営士会支部においても開催されてはいかがでしょう。

③ 北海道支部は、経営支援とともに個人の研鑽に努めています。会員は範として敬服しています。

例えば、人事・労務の専門家先生は社労士試験に挑戦しています。経験深い社労士先生が北大大学院に学んでいます。財務の専門家が商学博士取得にあと一歩です。経営学博士会員が二人おります。

④ 議事会　1月21日 14：00センチュリーホテルにおいて

新年総会を成功しよう！の事案及び新入会員の紹介と手続きを本部へ提出事項について。

東北支部活動報告

東北支部

1. 中小企業会計啓発・普及セミナー（仙台）を開催しました。

東北支部では、以下の通り中小企業会計啓発・普及セミナー（仙台）を開催しました。

期間：2019年1月26日（土）　13：00 ～ 16：00

場所：深田会計マネジメンツ研修室

10名以上の参加者で大変盛況でした。講師は東北支部八木会員で、中小機構作成のオリジナルテキスト等をもとに「中小会計要領」に則った決算書の作成などについて、わかりやすく解説されました。参加者は、財務会計の基本構造や事業計画の策定、「中小会計要領」活用のメリットなど、理解を深めたと思います。今後の経営に役立てていただければ幸いです。

（会場の様子）

2. 第3回環境経営士養成講座（仙台）アドバンストコース開催しました。

東北支部では、以下の通り仙台市にて経営士補養成講座アドバンストコースを開催しました。

第3回環境経営士養成講座（仙台）アドバンストコース

日時：12月15日（土）～ 16日（日）　9：30 ～ 16：30

場所：仙都会館　7階会議室

参加者は3名でした。3名とも無事終了試験も合格し、環境経営士資格付与申請書も提出いただきました。ぜひ環境経営士の仲間となっていただいて、東北地方の環境経営支援で活躍いただければと思います。

（3名無事受講終了です）

（東北支部　表 伸也）

支部活動報告

2018年度第4回　茨城県会公開MPP　開催結果

北関東支部

当会会員の皆様、当会の宝であるMPPを大切にすることを期待します。

この結果報告については、批判的にお読みいただきたいが、批判に終始するのではなく、肯定できる点については、参考にしていただきたい。それがMPPの真髄と考えます。

当会では「MPP」を商標登録して、他団体等から類似品出現を防止しており、私達が商標を大切にして、商標の積極活用を図るのが責務と考えます。皆様如何お考えですか？

茨城県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛け、2018年度第4回公開MPPについては近畿、東京、埼玉支部を含み、計7名にご参加いただきありがとうございます。今回は、前記3支部会員のご協力、ご参加で2チーム編成、少数会員の当県会、参加者に感謝です。従来の報告内容を変え、MPPに更なる魅力を付加したいと考えます。

MPPは、経営士能力開発講座→経営能力開発講座（士を削除）→MPP（商標を取得）と変遷した経緯があり、根底にあるのは思考力の養成、その内容は大～零細の企業研究であり、広く組織研究と言えます。皆様如何お考えですか？　皆様、再確認お願いします。

定期的にMPPを開催すると使用ケース探しに苦労します。ケース作成も心掛けており、今回はトライアルケース作成を目指し、MPPを実施したので概要を以下に示します。

以上の前置き、以下の詳細をお読みいただきたく、ほぼ全文の重複を承知して記載です。

1. 開催日：2019年2月2日（土）
   13：30 ～ 17：00（事前の情報交換的説明等、終了後検討会　各15分間）
2. 参加者：2チーム、計7名｛県内4名・県外3名（降雪の影響で1名減）｝
3. 開催場所：ひたちなか市　ひたちなか商工会議所
4. 使用ケースコード：トライアルケース
5. ケーステーマ（題名）：ある地方銀行の将来のための経営戦略
   （新ケーステーマの今後の設定計画：積極的に作成して支部間活用を図りたい）
6. 終了後検討会：質疑応答を含み計15分間
7. ケース選定の理由：MPPを継続開催すると、採用ケース探しに苦労する。
   未選定ケース払底の状態であり、今回はトライアルケース作成を目指した。
   お世話係としては、過去と同一ケース採用は避けたいのが本心である。
8. チーム編成と会員外（今回は0）参加者について：
   1）計7名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。
      6名／チーム　では多過ぎ、4 ～ 5名／チーム　は活発な討議になる。
      3名／チーム　でもMPPは開催可能である。他支部等でも試みては如何か？
      活発な討議結果を示す克明に記載のボード（写真）をご参照いただきたい。
      当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。
   2）終了後、懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い、相互理解を深めている。
      今回は大型テーマ、現実感不足等にも対話や感想が及び、情報交換は有意義である。
      次回等に開催の新ケース作成の参考になったと思えるのは収穫である。

3) 日刊工業新聞社　今回も遣り繰り不可だったが、茨城支局等にも働き掛けている。

9. 参加者の感想等：

1) ケース作成という挑戦的命題だが、適切なケースとして順次仕上げ可能と考える。
淀みのない現状説明や設問を明確にして、多数の参加者を得て討議可能なケースに仕上げたい。ある地方銀行を俎上に挙げ、検討しやすく順調な討議だったと考える。

2) 今回の要点は、新ケース作成のたたき台をどう精選するかも主体に討議した。
生々しい地方銀行の実態を想像できたと思う。最近のある地方銀行の不祥事等からも地方銀行の苦境を想像でき、真剣な討議ができたと考える。
他支部でもトライアルケースとして、ご活用いただければ幸いである。

3) 銀行の収益の源泉は、融資と預金の金利差（さやどり）であり、貸し倒れリスクが少なく有利な貸出企業の選別と言える。貸出企業の成長性等の目利き力の向上こそ急務だろう。
各種手数料収入も期待したいが、キャッシュレス社会に向かい、減少傾向と推測できる。
銀行窓口で投信等扱っているが、収益に寄与しているか？

4) 銀行の業務効率（行員の動きを観察して）、支店やATM網等合理化余地が多そうだ。
これらについても合理化すべく助言が必要だろう。内部にいる方々には「ぬるま湯に浸かっている」という自覚があるだろうか。なるようになるさと言う諦観か？

5) 財務の痛んだゾンビ企業が存在、銀行経営の困難さを予想、向上策が必要だろう。

6) 金融行政と言う制約があり、自主性発揮を根底から見直す必要がありそうだ。

7) 次回も新ケース作成の機運があり努力してみたい。各位のご協力に期待する。

8) 今回も記載だが、2チーム構成、3支部に及び、各支部の特徴が出てよかった。
MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。
リーダーの資質（基本的技量）の向上にも、参加者全員で取り組みたい。

MPPは企業経営に役立つとの感触を得ており、敢えて従来同様を重複記載します。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

（茨城県会　MPP　写真提供　橋本 琢磨会員、お世話係　塚本 裕宥）

（集合写真とMPPの様子）

支部活動報告

北関東支部新潟県会 公開MPP開催報告

北関東支部

北関東支部新潟県会は平成22年より年間事業として「公開MPP」を実施し、今回は平成最後の第22回目の公開MPPを開催しましたので報告をいたします。

日　時	平成31年1月26日（土）　午後13時受付、14時～ 17時・公開MPP、17時30分・新年会
会　場	クロスパルにいがた（新潟市中央区礎町通3－2086）
出席者	新潟県会：磯部正美県会長、渡辺良男会員、木村泰博会員、粉川雅人会員 鈴木裕之会員、桑山一宏支部長
	東京支部：日野隆生会員
	一般参加：瀬賀孝子様

今回の公開MPP参加者は現在大流行しているインフルエンザにより欠席の方もおられましたので、残念ながら一般からは1名の参加者にとどまりましたが、東京支部から日野会員の出席により合計8名の参加者、2チーム構成でMPPを実施しました。

磯部県会長の新年最初の行事の挨拶に続き、今回のケーステーマは新潟県会MPPケース研究会で作成のトライアルケース「X社　間接部門の省人化」を2チームに分かれ14時から17時まで3時間に亘る熱心な討議を行いました。

・トライアルケース「X社　間接部門の省人化」の概要

東海地方にあるX社は輸送機器に組込まれる電気、電子機器製品の製造・販売を行っており、現在海外に10か国（13工場）に進出しています。今回は新任のP営業部長の悩みとして営業部に所属する海外販売課（海外工場他に部品販売）の輸出業務の効率化、省人化をいかに行うかがメインテーマです。併せて所属の海外営業課と国内営業課の拡販営業の強化を経営トップから命じられ、拡販強化のスタッフは海外販売課の省人化により賄うこととされています。

今回、このような製造メーカーの間接部門の合理化について、A、B両チームで討議を行いました。

（Aチーム鈴木会員の発表風景）

・Aチームの討議では、省人化の手順と方策については、営業部全体の問題であることから、まず①営業部の組織変更を行う。（海外を4エリア制に分担）次に②当該の海外販売課の事務作業の合理化を図る。（帳票・書式の統一化、作業の共有化）また③部品供給を国内に頼ることなく、今後3か年計画で50％の現地調達を図っていく。これにより④海外営業課と併せて国内営業課も含めた人員配置の再編を行っていく旨の討議内容でした。

・Bチームの討議では、現在の海外販売課は、作業負荷が大きいため販売先の海外工場別に部品・原材料担当、設備・ツール担当を配置しているが、この縦割り方式から横展開可能な機能別組織として、受注・手配調達・輸出・売上処理の分担組織にして、効率化・省人化を図っていく討議内容でした。

このように同じケーステーマでも各チームの課題の捉え方が違うところがあり、製造メーカーの間接部門の合理化として有意義な討議を行うことができました。

（Bチーム粉川会員の発表風景）

公開MPP終了後は、場所を変えて新年会を行い、情報交換も併せて行いました。

（報告者：磯部　正美）

支部活動報告

「中小企業3Cの会」活動報告

千葉支部

新年を迎え1月26日は、最初の「**中小企業3Cの会**」の開催となりました。

今回は2月に、中日本ブロック主催、埼玉支部主管で行われる「2018全国研究論文発表会 in 中日本ブロック」で発表される佐藤秀樹会員(環境経営士)にリハーサル的に受賞論文の内容を発表して頂きました。

佐藤会員より、2017年9月に国連が定めた「持続可能な開発のための目標(SDGs)」から“SDGsを活用した推定市場規模の動向と今後の課題に関する考察”と題してSDGsに関わる全般の説明を受けました。支部活動の中で環境経営士の方がこの会で話されるのは初めてのケースであったと思います。今後もこの会に出席頂くことをお願いしました。

引き続き、児玉会員よりポリテクセンター受注案件で開催されるセミナーの概要の説明をして頂きました。児玉会員のお話は千葉支部でも応用できそうで興味深く傾聴しました。

(佐藤会員の発表の様子)

(児玉会員の説明の様子)

「**中小企業3Cの会**」は、色々な人が集まってその人の得意なものをお話して頂こうと考えています。従いまして、今後、外部の方もこの会に参加されて講演を依頼していくつもりです。

今月の会合には、12月に新たに支部に入って来られました山下淳会員も参加され、早速、会の終了後は皆で山下会員の歓迎会を開催しました。

昨年の日本の猛暑は、温暖化がなければ起こる確率0%だったと気象研究所などによって明らかにされており、世界では、地方自治体が「気候非常事態宣言」を公表し、包括的な動員計画を立案実施する動きが広がっています。又、海洋プラスチック問題等、地球規模の環境問題がある中で、資源循環から考える地域での町づくり支援や企業の環境保全への改善活動支援等、環境経営士としての活動の場がたくさんあると思います。環境経営士の皆様も、「**中小企業3Cの会**」へのご参加をお願いします。

「**中小企業3Cの会**」は、3月30日、4月27日、5月25日の土曜日、船橋中央公民館で午後3時～午後5時の開催予定です。千葉支部の会員の皆様、興味のある方も合わせて、ご参加をお待ちしています。

問い合わせ先等については、山田一　enshin@js4.so-net.ne.jp　まで

(金子 昌夫 記)

南関東支部活動報告

南関東支部長　戸部 廣康

南関東支部の活動について、報告致します。

1. 平成31年の新年会を開催：

平成31年1月12日（土）ホテル横浜キャメロットジャパン「桃花苑」で、青木会長、佐藤光子副会長、近藤専務理事にご出席戴き、新年会を開催致しました。特別講演会では、学校法人至善館理事 副学長大滝精一先生による「中小企業のリスク・マネジメント」のご講演が有りました。大滝先生は、東日本大震災後は東北未来創造イニシアティブ代表発起人、地域創造基金さなぶり理事長を通して復興に尽力されました。ご講演の中で「リスクは成長のチャンスでもあり、リスクに備える事が重要である」との言葉に、大いに勇気付けられました。

講演後、賀詞交歓会に移り、青木会長からご挨拶を戴きました。産業能率大学（産能大）との連携事業に関するお話もあり、出席者にとっても明るい話題となりました。

2.「SDGs全国フォーラム2019」に出席して：

1月30日（水）パシフィコ横浜でこのフォーラムが開催され（主催神奈川県、共催横浜市・鎌倉市）、増田昌彦環境経営士及び戸部が出席しました。2000名の参加希望者から、450名が抽選で選ばれました。参加者は「老若男女」であり、全世代でのSDGsへの関心の高さに驚きました。フォーラムの雰囲気を一言で言えば、「SDGsの決起集会」のような熱気を感じました。フォーラムのプログラムを以下に示します。

第1部「SDGs日本モデル」宣言採択

・開会挨拶：黒岩祐治（神奈川県知事）

・来賓挨拶：片山さつき（内閣府特命担当大臣；地方創生・規制改革・男女共同参画）、他2名

・宣言採択

第2部「SDGs日本モデル」における自治体の役割

・基調講演　遠藤健太郎（内閣府地方創生推進事務局参事官）
甲木浩太郎（外務省国際協力局地球規模課題総括課長）

・SDGs未来都市等からの提案　―パネルディスカッション―
黒岩県知事、松尾鎌倉市長、中島長野県副知事、由布滋賀県副知事、加藤小田原市長、木村寒川町長　その他6名

第3部「SDGs日本モデル」に向けた金融モデルとビジネスの力

・21世紀型金融ビジネスモデルの構築

・企業からの具体的なアプローチ：食品ロスを削減する為、廃棄食品から液状の家畜の餌への転換を企業化した社長の話が、興味深く感じました。

第4部「SDGs日本モデル」による次のライフスタイルと次世代からのメッセージ

・エシカルで健康的な暮らしが見えてくるクロストーク

・次世代からのメッセージ

「日本モデル」とは、SDGsと地方創生を絡めて、両者の「共創」を目指すものと考えられます。フォーラムでの配布資料は少なく、後日、神奈川県のホームページに纏めを掲載するとの事です。詳しい内容はホームページをご覧下さい。

中部支部活動報告

中部支部

●ICT研究会　　テーマ：中部支部HPの活用法

日時：平成30年12月9日（日）　9:30 ～ 11:30

場所：名古屋市芸術創造センター 5F　　担当：三品 富義

①経営士会の目的　②なぜHPが必要か　③HPで何をするか　④HPを見てみる

⑤HPの作り方のポイント、以上5つをテーマにHP活用法のお話をいただきました。

●養成講座研究会　　テーマ：環境経営士養成講座登壇講師　事前リハーサル

日時：平成31年1月13日（日）　9:30 ～ 15:30

場所：名古屋市芸術創造センター 5F　　担当：林、多賀、今枝、吉田

・各講師の受け持ちのリハーサルを行った後、聞き手のメンバーより、声の出し方、立姿、表情など講師としての基本的なポイントの確認をしました。また、内容に対する質疑応答、最新情報のトピックな話題の提供もあり、環境経営に関する知識の再確認を図りました。

●環境経営士フォローアップセミナー

日時：平成31年1月20日（日）　10:00 ～ 16:00

場所：名古屋市芸術創造センター 5F　　担当：梅本、三品、今枝

・梅本支部長より、セミナー開催に当たってのご挨拶。

・日本経営士会発行の環境経営士公式テキストについての、内容補足説明。

・CSRの基本知識の確認に引き続きCSV、廃棄物問題、人権・労働問題について。

・SDGs17のゴールについて各項目の意味と図表を交えての説明。

・中小企業に関する実務の事例を基にSWOT分析をした後、今後の戦略を考える練習。

●新年賀詞交換会

日時：平成31年1月27日（日）　13:30 ～ 16:30

場所：名古屋市芸術創造センター 5F

講演：加藤健二副会長

まず脳の記憶のしくみについてお話いただき、それと関連付けながら、無人化CVSや東京駅ナカ店舗など、流通・物流最先端の紹介がありました。

講演：戸部廣康南関東支部長

戸部氏の先祖は“織田信長の家臣”です。そして、名古屋市内で城持ちの武将であったことがきっかけで、今回のご講演をしていたくことになりました。戸部支部長からは、ある偶然より始まった「戸部一族」のルーツ探しの旅を、楽しくお話しいただきました。

懇親会：その後、「別館ツル」にて懇親会を催し、当支部の益々の発展を誓いあいました。

（今枝 健治 記）

（戸部廣康南関東支部長の講演）

（懇親会参加メンバー）

近畿支部活動報告

近畿支部

1. 一般社団法人日本経営士会近畿支部賀詞交歓会に13名が参加

2019年1月12日（土）日本経営士会近畿支部で賀詞交歓会を行い13名が参加しました。

12時から難波神社でお祓いを受けた後、レストラン「いつ香」で賀詞交歓会を行いました。瀬尾寿一常任幹事の司会進行で、鋳方貞了近畿支部長の新年のあいさつの後、瀬尾寿一常任幹事から、第53回経営士全国研究会議京都大会（9月14日（土）から15日（日）京都で開催）に向けた近畿支部実行委員会の報告と提案の後、近畿支部参加会員から自己紹介や抱負を述べた後、新会員の奥田和子さんがプロフィールを兼ねた自己紹介を行いました。

（賀詞交歓会の様子）

最後に、中筋敏雄副支部長から、「新年度に向けた近畿支部の活動の活性化をめざそう」と大阪締めで終わりました。

2. 第53回全国研実行委員会開催（参加者：6人）

日時：1月30日（水）　18:00～21:00

場所：近畿支部会議室

討議事項

1. ホテルの件
   ホテルの一覧と価格グレードの件
   現段階で135室最終は250室確保する
2. エキスカ―ションは？
   マネジメントコンサルタント5・6月号に掲載する
3. 広告の件
   ①広告掲載出稿お願い現行の作成（会員向けと一般向けを作成）
   ②広告掲載金額の確定
4. マネジメントコンサルタント3・4月号の原稿の件
   ①全国研のお知らせ第二弾を掲載する
5. その他

■近畿支部MPP研究会は、12月8日と1月26日に研究会を開催しました。

12月は近畿支部会員が作成したケースの検討、1月は「地域への社会貢献（子どもの居場所つくり）」で討議しました。今後も既存ケースでの討議や会員が作成したケースの登録に向けた検討や改善を行っていきます。

また、今年も他支部会員を交えた近畿支部公開MPPを別紙の通り開催します。

他支部・県会会員、MPP初参加・MPP参加経験が少ない会員の参加も大歓迎です。奮ってご参加下さい。

支部活動予定

近畿支部公開MPP研究会開催の案内

近畿支部

近畿支部MPP研究会参加者様
各支部・県会MPP担当者様

一般社団法人 日本経営士会 近畿支部
支部長　鋳方 貞了
MPP研究会担当　北原 雅人

日頃は当近畿支部ならびに近畿支部MPP研究会の活動にご協力頂き誠に有難うございます。

今年も他支部会員を交えた公開MPP研究会を開催することになりました。他支部会員との討議で日頃とは違った、新たな見解などが出ることなることでしょう。

開催要領は下記の通りです。MPP初参加・参加経験が少ない会員の方も歓迎です。奮ってご参加下さい。

日　時　**2019年3月16日（土曜日）　午後1時～午後4時**　**（※午後12時40分頃より受付開始）**

場　所　**自習室うめだ　大阪駅前第3ビル店　2階63－E号会議室**
大阪市北区梅田1丁目1-3　大阪駅前第3ビル2階　（※場所ご注意ください。）

JR 大阪駅・JR 北新地駅・地下鉄谷町線東梅田駅より徒歩 5 分。
看板が目印です。
※同じ店が大阪駅前第 2 ビルなど近隣にもあります。
ご注意ください。

参加費　1,000円（当日徴収します。）
※研究会終了後、懇親会を予定しています。（3,000～4,000円程度）

申込方法　**☆他支部会員ならびに近畿支部LINEグループ未参加の会員**

メール：メール表題に「公開MPP参加」、
本文に氏名・所属支部または県会・連絡先電話番号・懇親会の参加有無を記入して、
北原雅人宛（sun-lux@joy.hi-ho.ne.jp）へ送信願います。確認後に返信します。

ＦＡＸ：下部申込書に必要事項に記入の上、この案内全体を送信願います。

☆近畿支部LINEグループに参加済みの会員

近畿支部LINEグループにイベントページを設置しますので、参加ボタンを押してください。
尚、公開MPP参加予定で懇親会に参加されない場合はメッセージにてその旨お知らせください。

締切：3月13日（水）　※定員25名に達し次第締め切ります。

FAX：06-7739-5963　　**メール**：sun-lux@joy.hi-ho.ne.jp（北原宛）

3月16日（土）近畿支部公開MPP研究会に参加します。

氏名：　　**所属支部・県会：**

連絡先電話番号（なるべく携帯電話で）：

懇親会参加：　参加します　参加しません　（いずれかにマル印を付けてください）

問合せ先：北原　雅人　メール：sun-lux@joy.hi-ho.ne.jp
携帯：090-2190-7589　FAX：06-7739-5963

※頂いた個人情報は、今回の研究会運営ならびに今後開催する近畿支部MPP研究会の案内等に利用します。

第49期　経営士養成講座開催のお知らせ

本部・中日本ブロック共催

一般社団法人日本経営士会は
次代を担う経営コンサルタントを養成します

◆開　催　日：全10回　（土・日曜日を中心に開催）

（4月6日開講、4/13、4/20、4/27、4/28、5/12、5/25、5/26、6/1、6月8日修了）

◆会　　場：一般社団法人日本経営士会　本部会議室

（〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F会議室）

◆募 集 人 員：16名（定員になり次第締め切らせていただきます）

◆受　講　料：200,000円（消費税込）

◆お問合わせ：一般社団法人日本経営士会　事務局

TEL　03-3239-0691　　E-mail　office@keieishikai.com

◆詳細は、ホームページでご確認下さい。

✿会員各位へお願い

経営士、日本経営士会にご関心のある方へ是非経営士養成講座の受講を勧めて下さい。

セミナーのご案内
NJK女性経営士の会

NJK 女性経営士の会
セミナーのご案内

新しい資金調達の仕方
クラウドファンディング

～献上桃の郷 福島県桑折（こおりまち）町の復興支援プロジェクトを事例として～

クラウドファンディングを使った資金調達の仕方がわかる！
クラウドファンディングから製品化された「福もものの酢」ストーリー

2019年4月7日（日）

13:30～15:30（13:00受付開始）

講師：吉村千鶴子　**会場：（一社）日本経営士会本部会議室**

NJK（女性経営士の会）主催セミナーです。
ふるってご参加ください。
会費2,000円です。終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。
お問い合わせは　bzu03624@nifty.com　NJK会長島影まで

支部活動予定

【北関東支部】
（茨城県会）
＊茨城県会月例研究会
（次年度計画立案、経営士の提言、その他）
3月16日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所
＊茨城県会月例研究会
（新年度計画確定、MPPケース作成、その他）
4月27日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所
＊北関東支部会員会議（長野県会主管、仮予定）
5月18日（土）12：30 ～ 16：30（仮予定）
松本市内（仮予定）
＊茨城県会公開MPP
5月25日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所
＊茨城県会月例研究会
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
6月29日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所

【埼玉支部】
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
3月 1日（金）13：30 ～
武蔵浦和コミュニティセンター 第6集会室
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
4月 8日（月）13：30 ～
武蔵浦和コミュニティセンター 第8集会室
＊MPP研究会（中日本ブロック主催・埼玉支部主管）
4月13日（土）13：00 ～
武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室

【一木会】
3月7日（木）15：00 ～ 17：00
4月4日（木）15：00 ～ 17：00
5月2日（木）15：00 ～ 17：00
6月6日（木）15：00 ～ 17：00
7月4日（木）15：00 ～ 17：00
（会場は毎回 ホテルグランドヒル市ヶ谷 2階）

【TAMAマネジメント研究会】
3月23日（土）14：00 ～ 17：00
4月27日（土）14：00 ～ 17：00
5月25日（土）14：00 ～ 17：00
（会場は毎回 三多摩労働会館）

【中部支部】
＊新・道の駅研究会
パレットピアおおの視察・診断
3月 3日（日）10：00 ～
道の駅パレットピアおおの（現地集合）
＊新・道の駅研究会
パレットピアおおの視察・診断　結果発表
3月10日（日） 9：30 ～ 11：30
名古屋市芸術創造センター 5F
＊121研究会
ワン・トゥ・ワン・マーケティングとその事例
3月10日（日）12：30 ～ 14：30
名古屋市芸術創造センター 5F
＊生産管理研究会
トヨタ式品質管理のツボ
3月31日（日） 9：30 ～ 11：30
名古屋市芸術創造センター 5F
＊幹事会
3月31日（日）12：30 ～ 14：30
名古屋市芸術創造センター 5F

【近畿支部】
＊経営顧問研究会
3月20日（水）18：00 ～ 20：00
5月15日（水）18：00 ～ 20：00
＊MPP研究会
3月16日（土）13：00 ～ 16：00
4月27日（土）13：00 ～ 16：00
6月22日（土）13：00 ～ 16：00
＊論文研究会
4月24日（水）18：00 ～ 20：00
（会場は毎回 日本経営士会近畿支部事務所）

【九州支部】
＊定例会議
3月 9日（土）13：00 ～ 17：00
＊MPPリーダー研修
3月22日（金）11：00 ～ 17：00
＊MPPリーダー更新研修
3月23日（土）11：00 ～ 17：00
＊定例会議
4月13日（土）13：00 ～ 17：00
＊定例会議
5月11日（土）13：00 ～ 17：00
＊SMPP研究会
5月25日（土）10：00 ～ 18：00
＊定例会議
6月28日（土）13：00 ～ 17：00
（会場は毎回 上川端商店街振興組合事務所会議室）

インフォメーション

PR

一般社団法人日本経営士会

花 上 一 雄

「お陰さまで、２世代・３世代と永いお付き合いのお客様に支えられ２０２０年に開設５０年を迎えます。
“社員の健康は会社の健康、健康な会社創り”が使命です。」

花上グループ『社外人事部®』
★社会保険労務士法人　閃 光 舎
併設団体 中小企業経営協力会
★人事情報システム株式会社
★オフィスサポート株式会社

TEL:045-360-5560　FAX:045-360-5561
■E-mail : hanaue@hanaue.co.jp
■URL : www.senkousha.or.jp
〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 2-5-13

素焼きアーモンドを毎日の食卓に取り入れてみませんか?

弊社は、素焼きアーモンドを日本経営士会の皆さまにお手軽な価格でご提供させて頂きます!

アーモンドは、エイジングケアに欠かせないビタミンEが豊富です。食物繊維がレタスの約9倍も含まれており、毎日食べ続けることでカラダの中から健康になるスーパーフードなのです。

食べ切りサイズ15gを一袋として180袋から配達いたします。600袋以上のご注文は送料無料となります。賞味期限は210日です。

お電話・メールお待ちしております!

【弊社事業】
①週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化・管理会計強化）
②お菓子を用いた販売促進物の企画・製作

【お問合せ先】＊ご連絡お待ちしております!
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛（経営士5384、環境経営士244）
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com

PR

「経営士の提言」執筆のお願い

日刊工業新聞社のご厚意により、日刊工業新聞紙面に「経営士の提言」の欄を設けていただいております。日本経営士会並びに「経営士」の活動を知って頂く絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿を是非お待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

■「経営士の提言」執筆要領

内　　容：「モノづくり産業を中心とした経営的視点から」読者・関連業界に参考になる提言・提案を執筆して下さい。
字　　数：900 文字（末尾に氏名と電話番号を記載）
紙面掲載：毎週木曜日
原稿作成：文章は常体「だ・である」でワードで作成の上、メール等にてデータで本部宛てにお送り下さい。（メールアドレス office@keieishikai.com）
＊掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

名刺広告大募集

名刺広告を掲載いたしませんか！価格は下記の通りです。
連続で掲載の場合は２割引きになります。

種類	価格（会員）	価格（一般）
カラー１面	35,000	50,000
モノクロ１面	20,000	25,000
モノクロ半ページ	10,000	15,000
モノクロ名刺サイズ	5,000	7,500

訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。

＊松澤 常朗会員
（南関東支部会員　NO.1175）
平成30年9月16日没（享年85歳）

第 53 回経営士全国研究会議（京都）
「研究論文大募集」

第53回全国研究会議京都大会は、68周年の記念すべき大会にあたります。

今大会の包括テーマは、経営士の役割を再確認し、経営士としての力量・手腕を十分に発揮できるテーマです。是非この機会に、経営士各位の日頃の研究成果を論文にして発表されますようお願いします。会員各位の多くの応募を心よりお待ちいたしております。

― 包括テーマ ―

伝統と共創

―「第4次産業革命とイノベーション」―
未来社会の構築に向けて

募 集 要 項

■資　　格　：　一般社団法人日本経営士会　会員

■論文テーマ　：　①包括テーマに準拠するもの
②その他、経営士としてのコンサル活動をテーマにしたもの

■事 前 申 請　：　応募を希望される場合は、2019年5月31日（金）までに氏名、会員番号、支部名、論文テーマをEメールで事務局宛て申請して下さい。

■執 筆 要 綱　：　日本経営士会研究論文執筆要綱による
＊事前申請を提出された方に、執筆要綱をお知らせします。

■論文締切り　：　2019年7月5日（金）

■応 募 方 法　：　メール添付またはデータで下記へお送りください。
〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル
一般社団法人日本経営士会　事務局
Eメール：office@keieishikai.com

■論 文 審 査　：　厳選に審査し、7月末に結果をお知らせする予定です。

■論 文 発 表　：　第53回経営士全国研究会議（京都）において行います。

■論　文　賞　：　賞状及び副賞

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management